

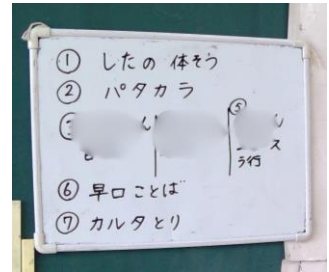
step up

2025 校内研修通信

やまびこ1(通級指導教室)の放課後指導の様子を紹介します。
2年生1名、3年生2名の発音練習の授業です。正しい発音は、相手に思いを伝えるためには不可欠な力になります。3名の児童が楽しみながら、発音練習をする様子を見ることができました。

授業のメニューをホワイトボードに書いて示すことで、3人各々が本時に学習する内容を把握しています。

まずは、3人で「舌の体操」です。見本の動画を視聴しながら、練習をします。



舌を左右に動かしたり、舌を前に伸ばし、舌尖をあごの方や鼻に近づけるように動かしたりします。舌の筋肉を鍛えるためのトレーニングです。先生も、動画に合わせて一緒にお手本になります。



次は、「パタカラ」の練習です。マリオゲームの音楽に合わせて、「パ」「タ」「カ」「ラ」の4つの音を連続して発音します。

リズムに合わせてとても楽しそうに発音していました。先生は、発音するときの舌の動きを模型を使って示します。



3人での発音練習のあとは、個別のトレーニングです。一人ひとりに合わせて、先生が順番に指導していきます。

(3年生)



発音しやすくするために、区切る場所を考えながら音読をします。一度、音読をしてみて、本人が読みにくいところを確認します。文章の区切るところに線を入れたり、言葉を囲んだりしました。

(3年生)

明瞭な音が出せるように、舌の動きを練習します。か行の発音が苦手なので、「か」から始まる言葉を使う練習をしています。ビニールホースを使って、自分の声をよく聞きながら、確認していました。



(2年生)

長文をはきはきと読むことができるように練習します。発音しにくい言葉が入ったニュース原稿に挑戦していました。



個別の指導のあとは、3人で早口言葉の練習、カルタ取りをして授業が終わりました。

一人ひとりの課題に合わせて、練習方法や内容を変えて学習する様子がありました。

授業者より

「うまく発音できないから、発表するのが苦手。」や「緊張すると、声が出なくなる。」など、発音に困り感を感じる児童は、日々の発表や音読に対して抵抗があり、教師が思うよりも、大きな課題となっていることが多いです。すぐに正しい発音になるということは、なかなかできませんが、週に一度練習していくことで、本人が直したい、変わりたいという気持ちは増していっているように思います。舌の動き、口の形の作り方を何度も練習して、苦手な音の出し方が分かり、自然とできるようになるまで、一緒に練習していこうと思います。周りの先生たちには、子どもたちが発音をうまく話せたときに、「上手だった。」と声をかけていただきたいです。